

# 太陽光発電設備メンテナンスの エキスパートを育成します。

## 「太陽光発電メンテナンス技士」資格取得講座概要

太陽光発電メンテナンス技士資格は、座学講座の受講と確認テスト合格、実技講座修了により取得できます。

| 資格名称          | 資格取得要件                  | 資格費用                                      |
|---------------|-------------------------|---|
| 太陽光発電メンテナンス技士 | ・資格取得講座の受講<br>・確認テストの合格 | 受講・検定料 65,000円(税別)<br>3年更新 更新料 5,000円(税別) |

## 講座内容

### 第1章. 太陽光発電メンテナンス技士資格制度と市場動向

- I 太陽光発電メンテナンス技士 資格制度について
- II 太陽光発電の業界および市場動向

### 第2章. 太陽光発電設備と構成機器

- I 対象となる太陽光発電設備について
- II 太陽光発電設備の構成機器

### 第3章. メンテナンスに関わる基礎知識

- I メンテナンスの基礎知識
- II メンテナンスの手順と使用機材について

### 第4章. メンテナンス実施例と不具合

参考図書：太陽光発電システムの不具合事例ファイル

### 確認テスト 70点以上合格(不合格の場合再受講)

※別日程にて実践講座に無料でご参加頂けます。

### 実践講座内容

場所：各開催エリアの太陽光発電設備にて  
設備概要説明  
目視点検講座  
IV カーブ計測機器説明・参加者計測実施  
その他使用機材説明

- 受講・検定料 65,000円(税別)  
※取得費用に、テキスト代、参考書籍代、講座受講料、認定証、カード発行手数料が含まれます。
- 申込み方法
  - ①FAX 申込み用紙にて、ファックス送信
  - ②公式ウェブサイトより講座申込み欄より申込み
- 資格取得者には、右のような認定証とカードを発行いたします。



一般社団法人 太陽光発電安全保安協会  
Japan Photovoltaic Maintenance Association

<http://www.j-pma.jp>

## 協会概要

|      |   |
|------|---|
| 名称   | 一般社団法人 太陽光発電安全保安協会<br>Japan Photovoltaic Maintenance Association<br><a href="http://www.j-pma.jp">http://www.j-pma.jp</a>   |
| 役員   | 代表理事：室田 正博  |
| 所在地  | 〒103-0013 東京都中央区人形町1-11-12 リガーレ日本橋人形町アネックス3F<br>関西支部/〒530-0051 大阪市北区太融寺町5-15 梅田イーストビル8階   |
| 連絡先  | TEL：03-6661-0704 FAX：03-6661-0705<br>E-mail：info@j-pma.jp   |
| 設立年月 | 2014年4月   |
| 事業内容 | 太陽光発電設備のメンテナンスに関する研究、保安基準の策定、情報収集、情報提供、指導並びに教育を推進し、太陽光発電設備の安定した発電状態を保守・点検できる技術者を育成し、もって社会の資源および環境の保全に寄与すること。<br><br>(1) 太陽光発電設備のメンテナンスに関する研究・情報の収集・分析及び管理並びに情報提供<br>(2) 太陽光発電設備のメンテナンスに関するコンサルティング及びカウンセリング<br>(3) 太陽光発電設備のメンテナンスに関するコンサルタントの育成及び研修の実施<br>(4) 太陽光発電設備のメンテナンスに関するセミナー・教室の企画、実施及び運営<br>(5) 太陽光発電メンテナンス技士検定の実施及び資格の付与<br>(6) 太陽光発電メンテナンス技士に関するセミナー・教室・実地講習の企画、実施及び運営<br>(7) 書籍の出版及び会報の発行 |



# 私たちが エネルギー資産を 守ります。

一般社団法人 太陽光発電安全保安協会は  
業界全体に効果的なメンテナンスを浸透させるために  
「太陽光発電メンテナンス技士」という資格制度を通して  
技術者の輩出と育成を行っています。



## ごあいさつ

今日の日本の電気エネルギー政策は再生可能エネルギーにシフトし、将来へ向けた恒久的な安定エネルギーの柱として樹立しなければならない状況です。

再生可能エネルギーの中でも太陽光発電設備は最も重要なシステムで、2012年7月1日より施工されている20年間の固定価格買取制度により、急激な普及を遂げています。

太陽光発電設備の普及が日本だけでなく世界でも主流になっていく中で、発電設備にもかかわらず、メンテナンスフリーという言葉がひとり歩きし、実際に多数の不具合発生事例が報告されており、今後数年のうちに大きな問題となることが予想されます。

しかしながら、現在メンテナンスにおける保安基準や標準化された管理方法が確立されていないため、発電事業者の立場に立った保守・管理技術者が少なく、発電所の設立速度に人材が追いついていない状況です。

発電事業者にとって、このような状態は事故・災害に繋がりがねず、現状のままであること自体が問題であると考えます。

このような経緯で、当協会は業界関係者であるか否かを問わず、広く技術者を育成するために、太陽光発電設備の安定した発電状態を保守・点検できる技術者認定資格制度を設立し、皆様のお役に立てるメンテナンス技士を育成し、全国の発電事業者のエネルギー資源を守ります。

代表理事 室田 正博



## 太陽光発電設備には メンテナンスが必要不可欠です

10kW以上の設備については、20年間という長期間にわたる買取が続きます。太陽光発電設備は屋外に設置するため、風雨や自然災害、雑草、動植物による干渉やさまざまな要因により故障が引き起こされる可能性が高くなります。また、日本特有の高温多湿な気候、スギ花粉、黄砂、PM2.5などの影響も懸念されます。今後間違いなく増加するであろう様々なトラブルの発生確率を下げるメンテナンスや、発生した際の適切な原因究明を進めるためにも、設備のメンテナンス管理がますます重要になってきています。



## 今後想定される事象

### モジュール



汚れ  
(砂埃・黄砂・花粉・落ち葉)



ひび割れ・経年劣化



鳥の糞



ホットスポット現象  
による故障



さび・腐食等の  
経年劣化



雑草

上記の事象を未然に防ぐこと、起こった際に要因を特定し、適切な対策をスムーズに取ることでエネルギー設備の利潤が保全されます。

当協会では、標準のメンテナンスとして以下を推奨しています。

①低圧洗浄

②目視点検

